

# 経営者懇話会（情報交換会）

日 時：令和3年3月26日（金）午後6時～7時45分

場 所：たかつガーデン「鈴蘭」

参加者：9名（会員のみ）

参加企業：朝田金属工業(株)、カネエム工業(株)、(株)関西発條製作所、(株)関西プレック、  
佐々木工業(株)、(株)大喜金属製作所、(株)ハヤシ（7社）

目 的：現在のコロナ禍において経営者の悩みは尽きません。売上の減少、補助金等の活用、雇用の問題、顧客とのコミュニケーション、従業員のモチベーションの維持など・・・、同業他社の皆さんはどのようにやり繰りをされておられるのか、何か良い施策やアイデアがあれば取り入れたい、など経営者同士の情報交換をして頂く目的で開催致しました。

総務・経営委員会の林秀昭委員長に司会進行をお願いして経営者懇話会を開始いたしました。

まず、はじめにご参加者の自己紹介と各会社のご説明、営業品目や従業員数、生産の拠点などをお話し頂きました。創業からの歴史や家電業界の衰退による事業転換などのご苦労されたお話や若くして社長を引き継いだお話などをお聞きしました。

次に、コロナ禍の影響、特に売りに上げに関してお話しをお聞きしました。全体的には昨年4月から8月くらいまで売りが大きく落ち込み、9月くらいから徐々に回復傾向になったという会社が多い様子でしたが、中には未だに回復傾向にないという方や、一方ではコロナ禍でも売りに上げは落ちていない、むしろ増収しているという方もおられました。業界別に見ると、建築用機器や住宅設備関連機器は比較的順調の様子ですが、アパレル関連はかなり厳しい様子です。自動車関連は一時落ち込んだが順調に回復している様子、ただしコロナではなく半導体工場等の火災が原因で減産傾向も見られ、また最近は大規模な運河の事故が影響を及ぼし始めているというお話もお聞きしました。

海外に拠点がある会社に海外の状況をお聞きしましたが、全般的に海外での生産は順調の様子です。これまでは頻繁に行き来をしていたが、行けなくなっても順調に回っているとの皮肉なお話でした。金型製作も現地の工場又はローカルで製造出来ておりすべて順調ではあるが、ただし新規の取引先や加工先を開拓することは難しいとのことでした。

次に従業員への教育や在宅勤務などについてですが、出張が少なくなったので若い社員と会話をしながら教育が出来ているとのこと、ただし在宅勤務については「製造業では無理」と皆様共通のご意見でした。

若い人材の確保についての意見交換もありました。地元の工業高校とのつながりで毎年確保しているが、最近では大学進学の人が増えて厳しくなりつつあるとのこと。外国人を採用する企業も増えていますが、賃金を安くするために実習生を雇うのではなく、正規雇用として雇う方が良いとのことのご意見がありました。また人材確保のためには職場環境の改善が必須、特に“トイレ”は重要であるとのことのご意見が多く、費用をかけてトイレや食堂を改装したという方が非常に多くおられて驚きました。

最後に、近日申請が始まる「事業再構築補助金」の話題があがりました。事業転換、業種転換など思い切った事業再構築する中小企業に～6,000万円という大きな補助金が出ます。クリアしなければならない要件はあるものの、今回ご出席の皆様はすでに構想がある様子で、様々な具体的なお考えを述べておられました。申請はなるべく早い時期に出す方が良く、後になればなるほど審査が厳しくなるよ、というアドバイスもありましたが、その一方では、補助金ありきではなく、各会社の強みを生かすように、とのご忠告もありました。

終了の時間となり解散致しましたが、皆様からは「大変参考になった」「参加して本当によかった」と言って頂きました。

（補足）会議では具体的な取引先名、固有名詞などが飛び交っておりましたが、誌面では割愛しております。



経営者懇話会の様子